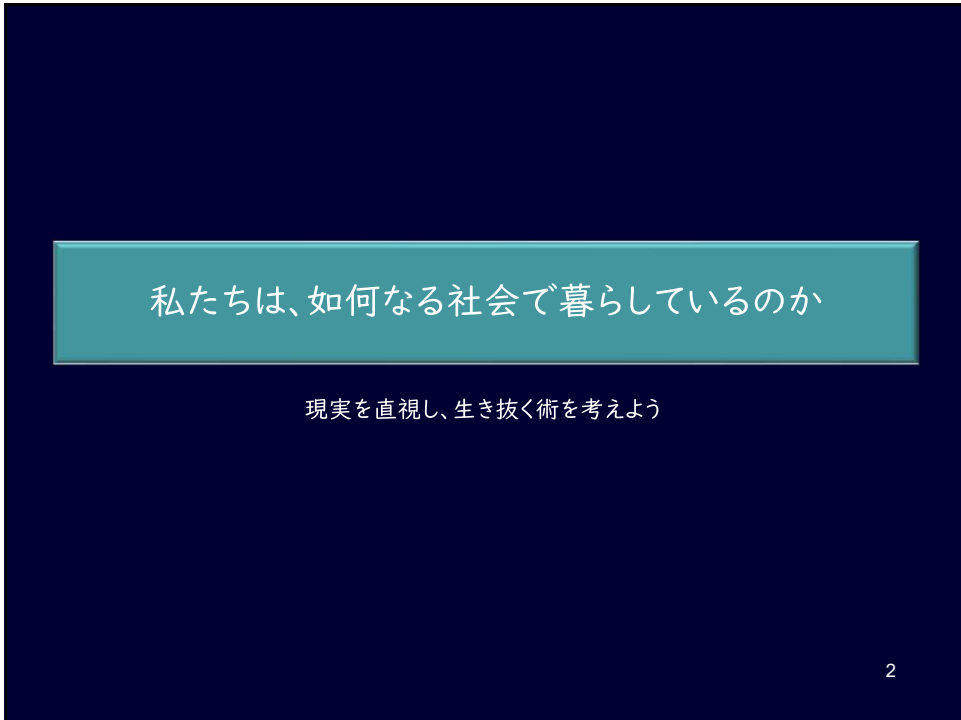




1



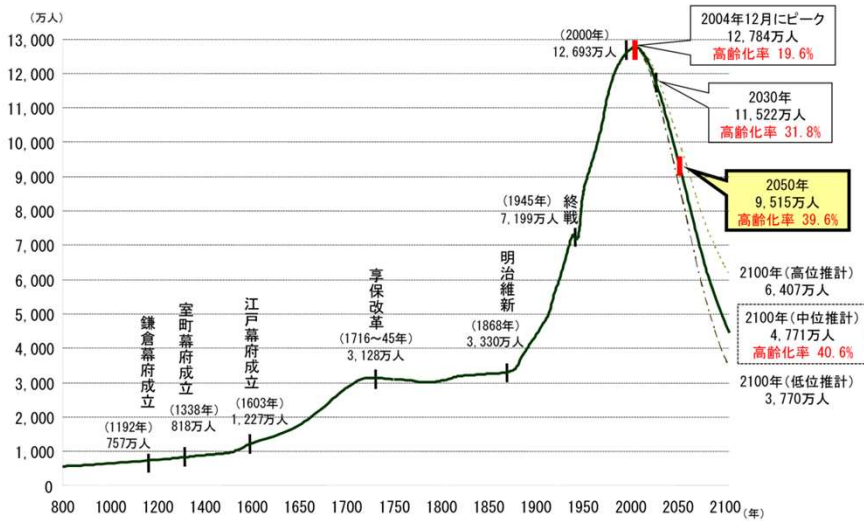
2

高齢化社会の視点から読み解く

3

3

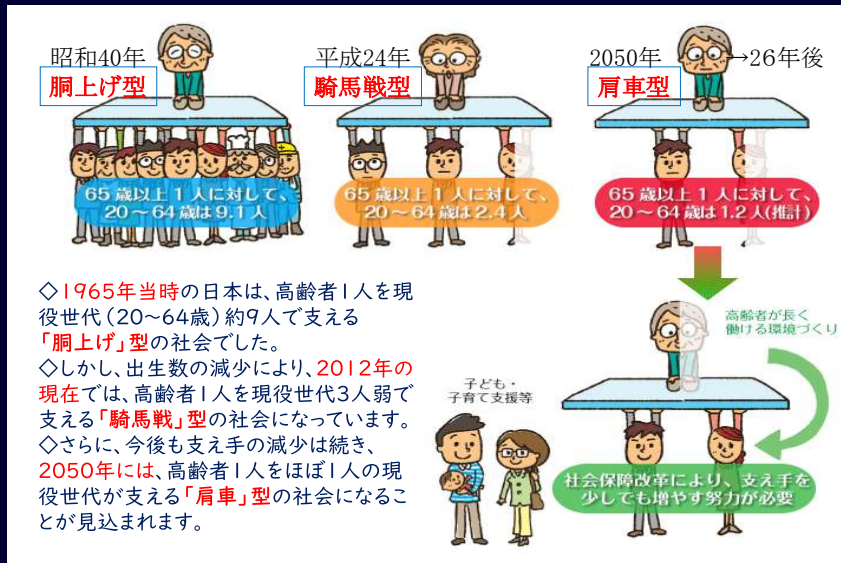
○ 我が国の総人口は、2004年にピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



出典:「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要(平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会)

4

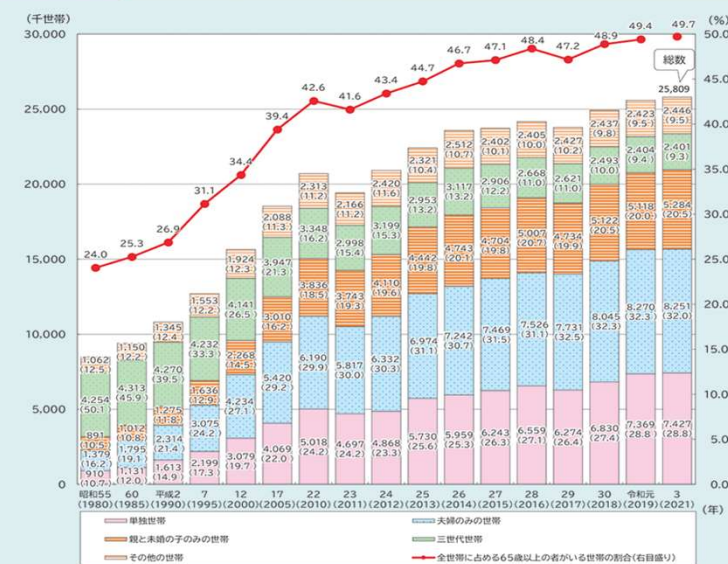
胸上げ型から肩車型社会へ  
(皆さん(50歳)が介護を必要とする頃)



出典: <http://www.gov-online.go.jp/tokusyu/201208/naze/henka.html>  
内閣府大臣官房政府広報室

5

図1-1-8 65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合(世帯構造別)と全世帯に占める65歳以上の者がいる世帯の割合



2021 (R3)

単独世帯 28.8%  
夫婦のみ 32.0%  
計 60.8%

↑

高齢者のいる世帯の6割以上は、生活課題への対応が困難な状況です。

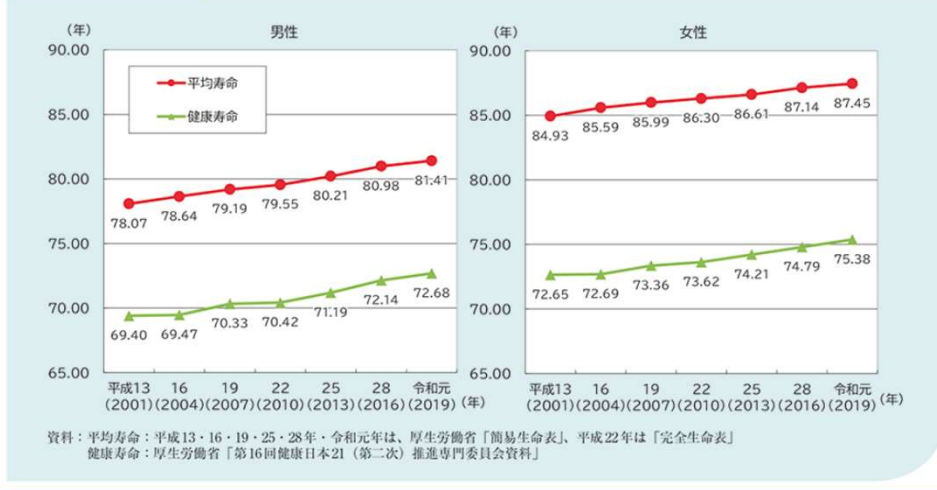
65歳以上の一人暮らしが、増加傾向にあります。  
男性15.0%  
女性22.1%

出典: 内閣府令和5年度版「高齢社会白書」

6

介護を必要とする期間が約10年あります。

図1-2-2-2 健康寿命と平均寿命の推移



2001:2019=9.67:8.73(Δ0.94)

約9年間は介護を必要とする。

2001:2019=12.28:12.07(Δ0.21)

約12年間は介護を必要とする。

7

対岸の火事では済まされない現実

8

出生数と出生率の推移

2022年1.26

出生率

出生数

2023年1.09

宮城1.09 全国ワースト2

22年出生率1.26 過去最低

この事実をどう見るか！

宮城県は、子どもを生ま育てにくい県である。

東京都の次に低いとは、  
実質 日本一  
「子どもを生ま育てにくい県」  
と言って言い過ぎだろうか！

↑

この現実を見過ごしてはいけない

2023年も下から3番目

9

住民同士の交流と行政施策が好循環が築く『核は常に民』のまちづくり  
—人口は減っても元気なまちづくり—

- ・岡山県奈義町(なぎちょう)は、合計特殊出生率2.81の“奇跡の町”と言われています。
- ・宮城県は、下から第2位の1.09です。最下位は東京の1.07です。
- ・これをどのように読むのか。
- ・私は、全国で下から二番目に、『子どもを産み育てにくい宮城県』と、読みます。
- ・この新聞が出たとき、行政そして私たちはどれほど深刻に受け止めたのでしょうか。
- ・これが、私たちの意識の現状なのです。
- ・岡山県奈義町は、なぜここまで合計特殊出生率が高まったのか。
- ・そこには子育て支援施策だけではなしえなかった「町民」を核とした活動があります。
- ・1.41にまで下がった合計特殊出生率が2.81に上がり、更に現在も高い水準を維持できています。これはどこにその仕掛けがあるのでしょうか。
- ・これを読んでいる方で、人口が少ない田舎町だから独自の施策が行えるのであって、そうでないと独自施策を打つのは難しい。この様にはしか考えられない方は、これ以降読み進める必要はありません。
- ・人口が少ない基礎自治体は財政基盤の弱く、国から使い道が厳しく制約される地方交付税に頼らざるを得ないのが実情なのです。そうした中に合っても独自施策を打ち出しているというのは相当の覚悟を持って行政を行っているということなのです。
- ・なので、できれば、人口が少ないからできるなどとは考えないで、行政の創意工夫に着目してもらいたいです。

10

- ・奈義町は、日本創世会議の発表で、2040年には半数の自治体が消滅するという警鐘が打ち鳴らされ、義町も「消滅可能性」896自治体に含まれていたのです。
- ・町長はこのピンチをチャンスととらえ、2016(平成28)年「奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、次の世代のために思い切った施策や魅力ある施策に取り組むことを決めています。

- ・そこで誕生したのが「まちの人事部事業」です。町の中で生まれる仕事を、町民にしてみらうようにしたシステムです。また「しごとコンビニ」「しごとスタンド」を開設して、子育て中の若いお母さんの仕事づくりを行っています。

- ・行政が主導で動いてきたように見える奈義町だが、こども・長寿課の立石奈緒子副参事は「核は町民」と明言しています。「どんなに役場がお金を出しても、一時的なお金だけで人を育てることはできない。子育てする町を選ぶときに、出産祝い金が高いから、予防接種が無料だからといった理由だけでは第2子、第3子を生み育てる気持ちにはなれない」。

- ・それより重要なのは、いわゆる子育て支援をしてくれたり相談に乗ってくれたりする先輩ママ等との交流ではないか。こうした考えを下にして、母親同士が当番制で保育をし合う自主保育『たけの子』が組織化され、その中で互いの不安が解消されることで、第2子、第3子への自信を持つようになる」。こうした意識の高まりがあると言います。

行政と住民が刺激し合い、魅力的な町づくりにつなげてきた結果が、高い出生率を維持できていると考えられています。

11

11

**年齢層別の認知症有病率**  
(%) 厚労省研究班の報告書などから  
2012年  
1985年

## 予備群も400万人

# 認知症高齢者 462万人

## 厚労省推計 65歳以上の15%

2023.6.1 朝日

65歳以上の高齢者のうち認知症の人は推計15%、2012年時点で462万人にのぼることが、厚生労働省研究班(代表研究者・朝田隆筑放教授)の調査でわかった。軽度認知障害(MCI)と呼ばれる予備群が約400万人いることも初めてわかった。

調査は09〜12年度、専門医などがいて診断環境が整っている福岡県久山町、同県大牟田市など8市町で選んだ高齢者5386人分のデータを使い、国立社会保障・人口問題研究所による高齢者人口(12年)に有病率を当てはめて推計した。1985年に行われた前回の全国調査は、本人と家族への聞き取りデータだけ使っていたが、今回は画像診断も併用して国際基準に準って専門医が診断した。認知症の把握がより正確になり、高齢化が進んだこととあって平均の有病率は85年の6.3%から2倍以上の15%になった。リスク要因とされる糖尿病など生活習慣病の人が増えたと、背景にあるとみられる。別の厚労省研究班が08年、2035年には445万人という推計を出しているが、有病率が85年のもの変わらないと仮定した計算。実際に有病率を調べた今回の結果は、2012年の時点でそれを上回った形となった。

**■軽度認知障害と認知症の違い**

**軽度認知障害**  
認知機能が年齢相応のレベルより低下しているが、日常生活は基本的に正常に送れる状態。例えば、金銭や服薬の管理ができなくなり始める

**認知症**  
社会生活に支障があるレベルまで認知機能が低下した状態。個人差はあるが、できごとすべてを忘れ、忘れたことの見覚えもない。金銭や服薬の管理ができなかったり、食事をしたことを忘れていたり、しりとりする「人にとられた」と言ったりすることがある

(健康でも、加齢に伴って認知機能の低下は起きる。ものや人の名前が出てこなかったり、食べた食事のメニューを忘れていたりすることはありえる)

年齢層別に見ると、74歳まで多数の有病率は年齢とともに上がり、85歳以上では4割を超えるIIグループ、多くの年齢層で女性のほうが高い傾向があった。またアルツハイマー型が67.6%と最多で、脳出血や脳梗塞など脳血管障害が原因の型が19.5%、幻視などを伴うレビー小体型が4.3%だった。

厚労省は昨年、介護保険の要介護認定をもとに、認知症の高齢者の1割に当たる305万人と推計したが、認知症になって日常生活は自立している人や、介護保険を利用していない人も多いとみられ、全体的に推計も出していない。今回の結果はその1.5倍に当たり、医療や介護の体制整備が急がれることになる。

日常生活は送れるMCIの結果は8.4%だが年齢と全国調査は初めて、65〜69歳は8.4%だが年齢とともに増え、80〜84歳の22.9%がピークだった。医療機関などで適切なケアが受けられないと、5年後には半数の人が認知症に進むとの報告もあり、研究班はMCIの段階から対策をしていく必要性を指摘している。(寺崎智子、武田耕太)

12

12

### 23年認知症不明者は1万9千人 11年連続で最多更新、警察庁

2024年7月4日 10:34 | 2024年7月4日 10:41 更新

認知症やその疑いがあり、2023年に全国の警察に届け出があった行方不明者が1万9039人に上ったことが4日、警察庁のまとめで分かった。前年から330人増え、12年の統計開始以来、11年連続での最多更新となった。

全国・海外の詳しいニュースはこちら

行方不明者全体の人数は9万144人。コロナ禍の20年は過去最少の7万7022人だったが、3年連続の増加となった。

認知症の行方不明者数は12年の9607人から増え続け、近年は2倍に迫る状況で推移。高齢化の進行を背景に今後も増えるとみられる。一部自治体が高齢者に配布している衛星利用測位システム（GPS）や、ドローンによる捜索が早期発見につながったケースがあり、警察庁は関係機関と連携し、取り組みを推進するとしている。

都道府県別では、兵庫県が2094人と最多で、大阪府が2016人、埼玉県が1912人と続いた。男女比は、男性が55.7%、女性は44.3%。23年以前に届け出られた人も含めると、1万8221人が生存した状態で見つかり、うち1万7988人は届け出から3日以内だった。

認知症行方不明者の推移

#### 認知症と軽度認知障害の高齢者の推計

2022年 25 35 40 50 60

※九州大などの研究チームの推計から。万人未満は切り捨て  
出典：読売新聞オンライン(2024/5)

**2023(令和5)年**

- ・認知症で行方不明者は19,039人。
- ・10年で約2倍に迫る状況にある。

厚生労働省は、2040年に認知症患者が584万人、認知症予備軍とされる軽度認知障害(MCI)患者が613万人に上るとの推計結果を公表した。  
(出典：読売新聞2024年5月8日)。

13

## 認知症は人ごとではない

(認知症と共に生きる高齢者の人口)

平均余命(2023年) 男性 81.05年 女性 87.09年

#### 年齢階層別認知症発症率

年齢階級	男	女
65-69	0.028	0.038
70-74	0.049	0.039
75-79	0.117	0.144
80-84	0.168	0.242
85-89	0.350	0.439
90-94	0.490	0.651
95+	0.506	0.837

厚生労働科学研究費補助金認知症対策総合研究事業報告書(研究代表者: 朝田隆, 2013年)

これからの時代は、長男・長女が結婚する。  
ということは、どの家族も、四人の親を持つ。

↓

この平均余命の意味する所は、  
**「全ての家族で認知症と関わる」**  
ということです。

地域社会全体をホスピタル(Hospital)にする必要があります。

14

「高齢者が多い」避けがたい現実を越える

人口減少・高齢化は、全てが「負」なのか？

15

15

高齢者は地域社会の含み資産

16

16



皆さんは、高齢化率をどう読むのか!

☀️ 宮城県全体の高齢化率(令和5年3月31日現在)  
29.1%・・・4人に1人が高齢者

☀️ 一方、この様な数字もあります(2018年base)。

◇要支援・要介護認定者数 119,059人(18.2%)

◇元気で時持ちの高齢者数 535,110人

65歳以上高齢者数(令和5年3月末) 654,169人

どちらに注目  
しますか?

註 時持ち:仕事から解放され、余裕の時間をいっぱい持っている人。

17

私は、高齢化率をこの様に捉えています

□要支援・要介護認定者数 119,059人(18.2%/2018年base)

・介護保険制度等を上手にを使って、自律的な生活を維持して下さい。

□元気で「時持ち」の高齢者数 535,110人

・社会貢献活動は介護予防です(介護・医療費用を子ども達や若者に回せる)。

・「大切なものはみなただ」+「情けは人の為ならず」(利他)=地域共生社会

・時持ちの環境を地域活動(次世代)に向けて、自己実現を図りましょう。

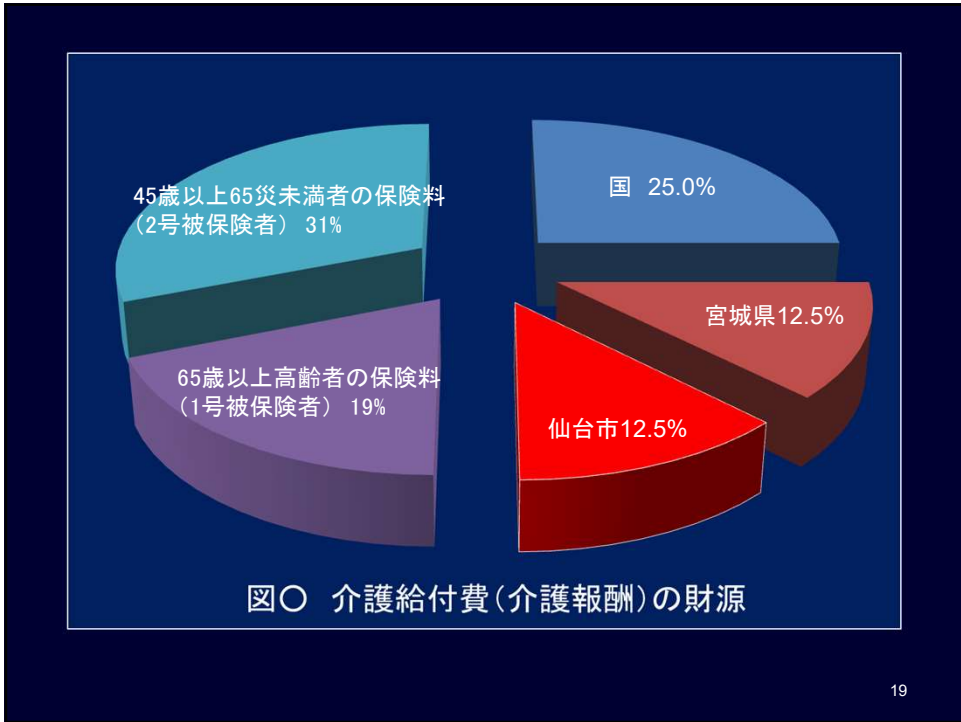


高齢者は、地域活性化の含み資産です

喫緊の課題は、高齢者の社会参加の環境整備(生かす場づくり=役割づくり)です。

18

18



19

### 健康づくり(介護予防)の隠れた効果

通所介護(老人デイサービス)を1回利用すると 5,700円  
介護報酬(要介護1の場合)

□利用者負担(10%) 570円 → 「事業者」に支払われます  
□介護報酬 (90%) 5,130円

□介護報酬 (90%) 5,130円の財源は！ →

国 (25%)	1,283円
宮城県(12.5%)	641円
仙台市(12.5%)	641円
65歳以上高齢者(22%)	1,129円
45歳以上65歳未満(28%)	1,436円

もし、安心安全の地域づくりで、介護を利用するのを1年先送りすることが出来たら

↓

@641 × 4日 / 月 × 12か月 = 30,768円を毎年富谷市に寄付しているのと同じ  
(仙台市の財政負担が軽くなります)

20

10人集まったら 307,680円

50人集まったら 1,538,400円



このお金は、次代を担う子どもたちの教育や子育て支援に使うことができる

と、いうことは!



自分のことだけに留まらない影響を持つ

健康的な生活や安心安全意識の高まりは  
『活気のあるまちづくり』に参加  
してるのと同じことなのです

介護予防事業→地域貢献事業への転換

21

21

## 高齢者が出来る街づくりへの参加

- ◇介護予防で市町村財政に貢献
- ◇長生きして(年金)地域経済に貢献
- ◇地縁力で社会関係資本拡大に貢献



子ども達に「豊かなふるさと」を残してあげる

22

## 超高齢社会

喫緊の課題は、高齢者の社会参加の環境整備（生かす場づくり=役割づくり）です。



皆さんが地域福祉推進に関わっている理由、そして出番は、  
ここにあるのではないのでしょうか。

23

23

## 高齢者から「幸礼者」へ！

人生を豊かに生きる「お互い様」社会の主力は、  
長い人生を豊かに過ごし幸をいっぱい持っている  
礼節をわきまえた方。

24

24

高齢者が多い(高齢化率の高まり)

高齢者は、地域活性化の含み資産

↓

皆さんの  
出番

高齢者の出番づくり・居場所づくり

高齢者は「幸礼者」へ大変身!

25

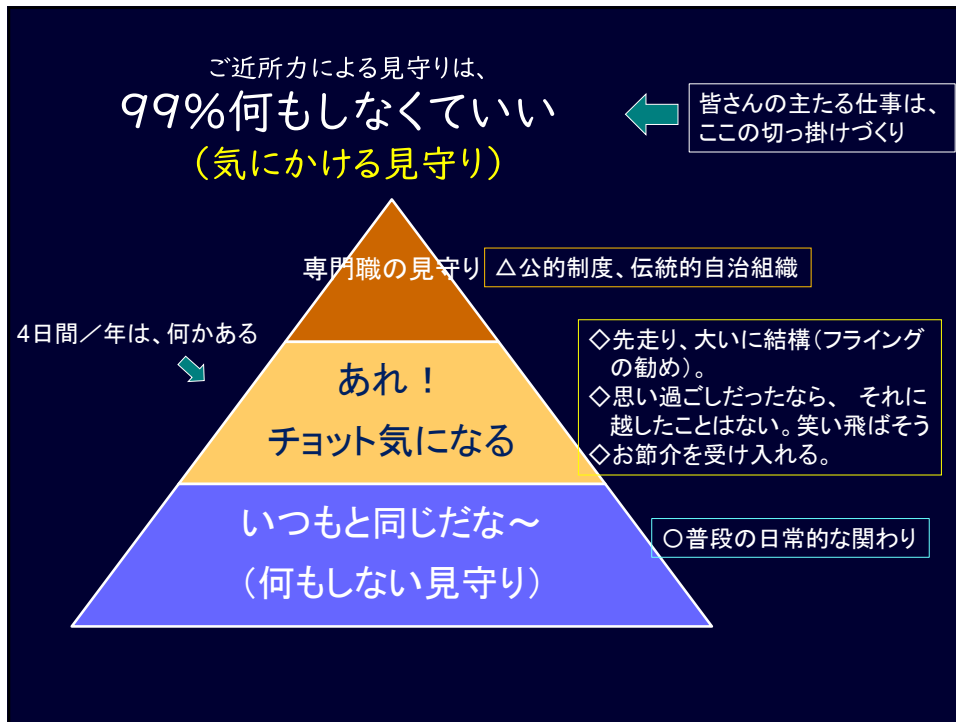
地区社協が取り組む様々な活動・事業の方向性

今後、確実に増加する高齢者(幸齢者)の「市民的専門性」に着目した活動

↓

	<b>健康寿命</b>	<b>貢献寿命</b>
Key word →	介護予防	社会的役割

26



27

た だ

河 野 進

もっとも大切なものは

みな ただ

太陽の光

野や山の緑

雨や川の水

朝夕のあいさつ

神への祈り

そして 母の愛

28

お互いさまの社会（地域共生社会）



もっとも大切なものにあふれている社会

それは、誰でもが無理なく関われる

お金で買うことができない・お金で担保できない社会  
(かけがえのない社会)

こうした地域社会づくりに関わっている皆様のは  
とても大きくて、とても大切な存在です。

29

なぜ、人だけが老いるのか？

30

30

- ◇ヒトの「古い」は、「積極的な古い」。
- ◇ヒトは、進化的に、老いることが必要だったから老いるようになった。
- ◇高齢者（シニア）の存在は、その集団にとって必要だった。
- ヒトのシニアの役割としてよく言われるのは「おばあちゃん仮説」。
- その集団のシニア的存在のヒトが子育てを手伝う（集団で子育てをする）。
- 生存競争や繁殖において、シニアの存在が有利であれば、シニアがいる集団が選択的に残されていく。
- 「おじいさん」の場合
- 集団で狩りをするには、知識や経験そして集団を統率するヒトの存在が欠かせない。
- シニアは、そうした役割を担った。
- こうした役割を担えるシニアがいた集団は、生存競争や繁殖に有利に働き、選択的に生き残れた。（「シニアのいる集団は繁栄する」）



◇高齢者（シニア）のいる集団は、選択的に残り、進化する上で「古い」が必要となった。＝「積極的な古い」

出典：『なぜヒトだけが老いるのか』（講談社） 小林武彦氏（東京大学定量生命科学研究所教授）

31

31

このことは、どうしても、重ねて言いたい！

皆さんのような

利他的、公共的な高齢者（シニア）は、ヒト（人類）の進化に寄与しているのです。



健康寿命+貢献寿命を延ばし、地域社会の発展に益々寄与して下さい。

32



国際信号旗 K



本船は貴船との交信を求める

地域福祉研究所

ご質問は以下にお寄せ下さい

E-mail : [welfare0622@yahoo.co.jp](mailto:welfare0622@yahoo.co.jp)

HP・Blog: <https://welfare0622.org/>

ご静聴有り難うございました。

33